

# 令和5年第10回富山県教育委員会議事日程

9月29日（金）午後3時

県庁4階大会議室

## 1 会議録の承認について

令和5年8月31日開催の令和5年第9回富山県教育委員会会議録の承認について

## 2 報告事項

(1) 臨時代理について（令和5年9月富山県議会定例会に付議する事案に対する意見に関する件）

教育企画課長から説明した。

(2) 令和6年度富山県公立学校教員任用候補者名簿登載状況について

教職員課長から説明した。

(3) 第2回県立高校教育振興検討会議の開催結果について

県立学校課長から説明した。

## 3 今後の教育委員会等の日程について

## 4 議決事項

議案第29号 令和5年度教育功労者等表彰の件

教育企画課長から説明し、原案のとおり可決した。

議案第30号 富山県スポーツ推進審議会委員の任命に対する意見に関する件

保健体育課長から説明し、原案のとおり可決した。

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条7項により、議案第29号及び議案第30号は非公開となりました。

臨時代理について（報告）

下記のとおり臨時代理したので、教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和34年富山県教育委員会規則第6号）第4条第2項の規定により報告します。

令和5年9月29日 提 出

富山県教育委員会

教育長 荻布 佳子

記

令和5年9月富山県議会定例会に付議する事案に対する意見に関する件

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定により知事から意見聴取のあった令和5年9月富山県議会定例会に付議する事案については、同意するものとする。

以上、教育長に対する事務委任等に関する規則第3条の規定により臨時代理する。

令和5年9月4日

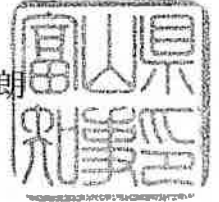
富山県教育委員会

教育長 荻布 佳子

財 第 5 9 号  
令和 5 年 9 月 4 日

富山県教育委員会  
教育長 萩布 佳子 殿

富山県知事 新 田 八、朗



富山県議会に付議する事案に対する意見について

令和 5 年 9 月富山県議会定例会に付議する次の事案のうち、教育事務に関する部分について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 29 条の規定により、貴委員会の意見を求めます。

記

・令和 5 年度富山県一般会計補正予算（第 4 号）

# 令和5年度9月補正予算（案）総括表

## 1 一般会計

教育委員会

単位：千円

区 分		既定予算額	補正予算額	計	構成比	既定予算に対する伸び率 (事業費ベース)
教育総務費	事業費	2,950,597	691	2,951,288	4.4%	0.0%
	給与費	979,084	0	979,084		
	計	3,929,681	691	3,930,372		
小学校費	事業費	209,791	0	209,791	32.6%	0.0%
	給与費	29,084,778	0	29,084,778		
	計	29,294,569	0	29,294,569		
中学校費	事業費	185,959	0	185,959	19.4%	0.0%
	給与費	17,257,654	0	17,257,654		
	計	17,443,613	0	17,443,613		
高等学校費	事業費	8,267,234	141,775	8,409,009	30.2%	1.7%
	給与費	18,770,134	0	18,770,134		
	計	27,037,368	141,775	27,179,143		
特別支援 学校費	事業費	1,701,541	8,225	1,709,766	11.4%	0.5%
	給与費	8,499,875	0	8,499,875		
	計	10,201,416	8,225	10,209,641		
社会教育費	事業費	618,591	1,498	620,089	1.3%	0.2%
	給与費	565,629	0	565,629		
	計	1,184,220	1,498	1,185,718		
保健体育費	事業費	474,438	0	474,438	0.7%	0.0%
	給与費	139,678	0	139,678		
	計	614,116	0	614,116		
合 計	事業費	14,408,151	152,189	14,560,340	100.0%	1.1%
	給与費	75,296,832	0	75,296,832		
	計	89,704,983	152,189	89,857,172		

## 2 繰越明許費補正

(1) 追加

(単位：千円)

款	項	事業名	金額
教育費	高等学校費	学校修繕費（全日制）	31,098
	高等学校費	高等学校校舎等リフレッシュ事業費	76,351

## 3 債務負担行為補正

(1) 追加

(単位：千円)

事項	期間	限度額	備考
県立学校施設長寿命化改修事業	令和6年度から令和8年度まで	159,744	

## 令和5年度9月補正予算 一覧表

### 1 一般会計

(単位:千円)

室課名	事業名	提案 見込額	財源内訳			備 考
			国支出金	その他	一般財源	
教育企 画課	教育ネット利用事業費	691			691	特別支援学校における生徒の増加に伴い、不足したタブレット端末の追加配備
	学校修繕費 (全日制)	54,400		地 49,000	5,400	県立学校の雨漏り被害の防止と建物への被害拡大を防ぐための屋上防水工事等
	学校修繕費 (全日制) 学校修繕費 (定時制) 学校修繕費 (特別支援)	95,600	補 34,733	地 48,300	12,567	令和5年7月の大雨被害における災害復旧対策 (石動高等学校、富山総合支援学校等)
生涯学 習・文 化財室	文化財保存整備費	1,298			1,298	令和5年7月の大雨被害における災害復旧対策 (国指定史跡小杉丸山遺跡)
	図書館費	200		寄 200		県立図書館において、寄附金を活用した子ども向け書籍の充実
事業費計		152,189	34,733	97,500	19,956	

※注)補:補助金、地:地方債、寄:寄付金

令和6年度 富山県公立学校教員任用候補者名簿登載状況について

このことについて、次のとおり報告します。

1 登載者数

( ): 昨年度

項目 種目	志願者数	1次 受検者数	1次 合格者数	2次 受検者数	登載者数			補欠者数
					総数	内訳 A B		
小学校	330 (240) (245)	313 (226) (227)	275 (219) (214)	213 (203)	155 (172)	113	42	18 (21)
中学校 高等学校	398 (385)	350 (353)	201 (223)	185 (209)	112 (135)	89	23	6 (17)
特別支援 学校A	33 (37)	26 (35)	24 (26)	21 (25)	20 (19)	12	8	0 (2)
特別支援 学校B	14 (21)	13 (19)	8 (11)	7 (11)	3 (6)	2	1	0 (1)
養護教諭	58 (48)	52 (47)	19 (15)	18 (14)	7 (4)	6	1	3 (3)
栄養教諭	15 (20)	14 (20)	8 (5)	8 (5)	3 (2)	3	0	2 (2)
合計	848 (758) (756)	768 (681) (701)	535 (479) (494)	452 (467)	300 (338)	225	75	29 (46)

※< >は大学3年次の人数を除いた数

※補欠者とは、9月25日現在、名簿に登載されていない者で、採用内定者の辞退等により  
欠員が生じた場合に順次名簿に追加登載される者をいいます。

うち特別選考

( ): 昨年度

項目 区分	志願者数	1次 受検者数	1次 合格者数	2次 受検者数	登載者数		
					総数	内訳 A B	
社会人経験A	24 (23)	19 (23)	12 (19)	12 (19)	5 (11)	5	0
社会人経験B	2 (3)	2 (3)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	0	0
教職経験	29 (38)	29 (38)	29 (38)	26 (34)	21 (29)	20	1
特定資格	8 (6)	7 (5)	5 (4)	5 (4)	4 (4)	4	0
国際貢献	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2	0
スポーツ 実績	7 (11)	7 (10)	4 (6)	4 (6)	3 (5)	3	0
障害者	1 (3)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0	0
大学推薦	42 (37)	42 (37)	42 (37)	42 (37)	40 (36)	37	3
合計	115 (123)	108 (120)	95 (108)	92 (103)	75 (87)	71	4

参考資料

< 登載者数の推移 >

年度 項目	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
受検者数	1,090	1,031	1,043	1,006	888	782	777	717	701	681
登載者数	319	312	309	300	305	325	343	335	338	300
倍率	3.4	3.3	3.4	3.4	2.9	2.4	2.3	2.1	2.1	2.3

※ R6年度は大学3年次の人数を除いた数

## 第2回県立高校教育振興検討会議の開催結果について

### 1 検討会議の開催

- ・令和5年8月31日（木）午前10時から午前12時まで、富山県民会館にて開催
- ・委員13名、アドバイザー2名出席

### 2 主な意見等

#### (1) 県立高校の再編に関する学校規模や基準などの基本的な方針について

- ・学級数が減ると、教員数が減る。質の高い教育を実施するためには、1学年あたり5～6学級は必要ではないか。
- ・生徒の学習環境の維持や部活動の活気という観点から、4～5学級規模が望ましい。ただし、地理的な条件なども考慮する必要がある。
- ・高校教育の質のレベルを下げるわけにはいかない。そのためには、学校規模、生徒数あるいは学級数が大変重要であり、それが低下することは極力避けるべき。
- ・現在、学級規模は1学級40人として計算されている。いつ法律が変わるかわからないが、現状は変わることはないと思うので、前回と同じような基準でよい。ただし、登校にかかる時間等は考慮する必要がある。
- ・4学級くらいが一つの目安で、地域の実情や校風によって、3学級、2学級があるのかと思う。
- ・生徒が30%減るということに改めて危機感を覚えている。全国や県内の状況を見ると4学級くらいが妥当なのかと思う。
- ・4～5学級が望ましいというのもよくわかるが、いろいろな地域の事情なども考えてほしい。
- ・現在の再編基準を引き下げるべき。通学の困難さという地域の特性に配慮すべき。
- ・小規模校では、経験が少なくなることがある。長崎県のキャンパス校のように、小規模校が大規模校とつながる方法もあるのではないか。
- ・学校の規模・基準も大切だが、それを検討していく上で、学科やコースの見直しと併せて検討する必要がある。
- ・富山県は、県立高校と私立高校の割合を定めた上で募集定員を決めているので、他県のように定員割れを基準とするような一律の基準は難しいだろう。一つの基準で全て決めるのではなく、いろいろな観点を持つ必要がある。
- ・自分が選んだ学校で何ができるか、将来どんな進路を選択できるかが大切。高校では、そういった指導をしてもらいたい。
- ・学校の先生方、生徒や保護者、経済界や学術界のそれぞれの立場の意見のバランスをとらなければならない。人口減少という抗えない事実がある中で、どう三方よしを高めていくかということが方針ではないか。



## (2) 県立高校の学科やコースの見直しについて

- ・職業系の学科において、ねらいとする知識や技能、社会から求められている能力や技術といった力も変化してきているのではないか。今の形にあったような学科の組み替えがあってもよい。
- ・スクール・ポリシーなど、県立高校のそれぞれの方針がますます大事になってくる。規模や大学進学率の競争ではなく、理念やビジョンの競争で高校を選ぶことが大事。
- ・「令和の魅力と活力ある県立高校のあり方に関する報告書」では、職業科の学科の見直しに関して、「生徒の希望や産業界のニーズとバランス等を考える」となっている。これはまさしく社会の変化に対応して考えなければならないということだと思うので、この形で進められるとよい。
- ・職業科と普通科が一つの学校になり、共通の授業科目をオープン化し、お互いに乗り入れながらやっていくと特色も出てくるのではないか。そういった高校をつくっていくことも一つではないか。
- ・富山県にとっては、農業、水産はとても大切。もう一つの特徴は工業県ということ。こういう分野で全国からうらやましく思われるような高校のあり方をデザインすべき。一つの提案として、学科名、学校名まで変えてはどうか。
- ・中学生の時に、誇りを持てる学科であり、誇りを持てる学習だということを理解してもらえる教育が必要だろう。それが高校を選ぶ材料にもなる。
- ・中学校3年生が、半日ほど農業高校の取組みを体験することがあった。そういった中高連携の取組みも進め、高校のよさを中学生にアピールしてもらい、進路選択の一つになるとよい。
- ・親の立場としては、「とりあえず普通科に」とアドバイスしてしまう気持ちもある。工業系も特色をつけるのであれば、必修化された「情報」が特色ではないか。県立大学では、データサイエンスに力を入れているので、高大連携も図れて非常に良い特色が出ると思う。
- ・中学校の先生方が進路指導をしていく中で、例えば、工業科を志望している生徒には、工業科の中のどの学科にするかということになる。視察報告にあったように、入る時は、大枠で入り、そのあとにコースを選択するような高校があれば、進路指導面からもよいし、子どもたちの選択肢も広がる。
- ・志願状況を見ると、総合学科が毎年安定した状況になっている。この人気のある要因を分析していくことも必要になってくる。

## 3 今後の予定

- ・第3回検討会議では、(1) 県立高校の再編に関する学校規模や基準などの基本的な方針について、(2) 県立高校の学科やコースの見直しについて、(3) 様々なタイプの学校・学科等について検討する予定。

参 考

## 今後の教育委員会等の日程について

- 令和5年10月16日(月) 13:00 予定  
教育委員会 (県庁本館4階 大会議室)